

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽学喜サポータnemone		
○保護者評価実施期間	令和8年3月		～ 令和8年5月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和8年4月		～ 令和8年5月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・地域のイベント(福祉祭り、西原町祭り)等にポップコーン販売の出店を行い、児童に対し仕事体験を実施している	・ポップコーン販売の売上を児童に還元	・受け取った報酬をどのように使っていくか?何を購入するのか? ・お金の勉強へ繋げて行く(マネーリテラシー)
2	・「こども会議」を行い、提案力、発表する力、それが実現した事への喜びを味わう事で、「皆の前で行ける」力を身につけて行く	・子ども達の意見を否定しない、お友達の意見を受け入れる事が出来るような支援	・事業所でやりたい事、行きたいところ、やってみたい事を、パワーポイント等を使ってスタッフに向かってプレゼント行う
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽学喜サポートanemone		
○保護者評価実施期間	令和8年3月		～ 令和8年5月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和8年4月		～ 令和8年5月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月8日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・地域のイベント(福祉祭り、西原町祭り)等にポップコーン販売の出店を行い、児童に対し仕事体験を実施している	・ポップコーン販売の売上を児童に還元	・受け取った報酬をどのように使っていくか?何を購入するのか? ・お金の勉強へ繋げて行く(マネーリテラシー)
2	・「こども会議」を行い、提案力、発表する力、それが実現した事への喜びを味わう事で、「皆の前で行ける」力を身につけて行く	・子ども達の意見を否定しない、お友達の意見を受け入れる事が出来るような支援	・事業所でやりたい事、行きたいところ、やってみたい事を、パワーポイント等を使ってスタッフに向かってプレゼンを行う
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		楽学喜サポートanemone					公表日	令和8年5月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・文章や写真で物の場所を示してあげると良いか		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		・宿題の時に個室または半個室空間で行う事で取り組み易い		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		・年2～3回法人研修実施		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		・色々なプログラムを毎月多く行っている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		・行動観察でのアセスメントが主		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		・スタッフ各々で立案し、その後、意見を聞いて調整修正している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		・美浜とプログラム、活動場所等共有が行える ・固定化している物もあるが、それ以外は前月に無いプログラムを考えようとはしている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		・その児童の状態を共有して計画等を作成していると思う		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		・朝のミーティングで昨日の振り返りや本日の児童共有、支援方法を確認している		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・陽帳に応じて共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・遅れている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	・中でも「地域交流の活動」の体験から、その子の自信や成長を実感する
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・のびのびデイや子ども会議にて意見を聞いて活動に繋げている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	・保健や医療とも繋がって行きたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・就学児に入ってきた場合はなかなか情報共有は難しい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	・小学校高学年での卒業が多い ・モニタリングを通して行っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	・外部からのスーパーバイズを受けたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・わからない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	・保護者支援についてどのような場が良いか話して行きたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	・機会を増やしたい ・親子プログラム等、親子同士で交流出来るよう、スタッフが橋渡し役になったり、雰囲気作りを行っている ・親子プログラムを通して行っている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタグラム等SNSを活用し保護者に発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人特定できない様、加工を施している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・ anemone祭りや、ハロウィンパレードを行っている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・避難訓練は行っているが、マニュアル等の具体的な策定はこれから
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・消火器の使い方について管理者よりレクチャー頂いた。使い方が解り定期的に安全管理について確認する場は大事だと感じた（放デイの子へ対応から） ・法人研修を行っている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・これからマニュアル等を作成し、連携が取れるよう周知していく予定
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・細かい事も職員同士で共有し、ヒヤリハットを作成している。 ・ヒヤリハットが出る事は良い事（大きな事故への前触れ）と認識し、積極的に声をあげて行く
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・法人研修や市町村が企画する研修に参加している
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		楽学喜サポート anemone				公表日 令和8年5月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・帝位に対し狭いという訳では無いが積極的に課外活動（公園遊び）を取り入れている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・玩具の片付け場所等、工夫（写真を貼る等）が必要 ・玩具の場所を固定化しても良さそう（写真と同じ玩具の所に片付ける）		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・年2~3回法人研修実施されている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ホワイトボードに貼られた活動のカレンダーを見ている子が多い、自分のいる曜日の活動を楽しみにしている様子がある ・ほぼ毎日プログラムがある		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・日々の行動観察が主		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・立案はスタッフ各々で行っているが、その後意見を聞く等している ・リーダーを決めて、皆でプログラムを立てている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・わざと固定化しているプログラムがあるが、それ以外は出来るだけ、前月に無いような行事を考える様にしている ・美浜と共有、意見交換が行える		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝のミーティングで児童情報の共有等がある		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 日々のサービス提供記録を入力しながらその日の児童の様子や保護者について情報共有を行っている 必要に応じて共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 遅れている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 管理者だけでなく、全スタッフで対応するようにしている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> 保健や医療とも繋がって行きたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング時に情報共有していると思う
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0	
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 近隣公園にて、地域のお友達と遊ぶ機会あり、 anemone祭りに地域のお友達に声掛けし参加を促している 今年度は地域のハロウィンパレード参加予定 近隣公園や自治会にて地域の子と活動（一部遊びの共有）あり 	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ライン（SNS）活用 	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	<ul style="list-style-type: none"> イベントの親子参加はある。今後保護者向けの講座や保護者会の機会を持ちたい 	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に行っている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との面談が増えるより対面でニーズの確認が丁寧に行えると思う
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 親子プログラム等で親子同士の交流が図れるよう工夫して行っている 保護者会等の開催は無いが親子もちつき会等の行事で交流する機会を作っている 親子プログラムを通して交流の場を設けている もちつき会で保護者を呼び話合えるようにしている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にInstagram等SNSにて情報発信をしている Instagramでの発信、活動の様子等 保護者が見やすい、見慣れているアプリ（Instagram）で児童の顔隠し 	

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・SNSにて画像をアップする際、個人特定できない様加工をしている
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・ anemone 祭りに地域のお友達を招待 ・ ハロウィンパレードで交流 ・ 秋祭り等を行い交流する機会を設けている ・ ポップコーンの販売、地域清掃等
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・ マニュアル等はこれから策定するので家族への周知は未だ
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・ 台風や津波注意報発令時の対応について保護者へ配布予定 ・ 家族への周知へはいたっていない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・ 年2〜3回法人研修を実施している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	・ 今後記載予定	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 楽学喜サポート anemone

公表日 令和8年5月15日

利用児童数 19

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0	・十分だと思う	・子ども達が元気に動き回るスペースはあるが、積極的に近隣公園を活用している
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	1	・足りないと言う事は無いと思う	・人員配置の基準を満たしています
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	3	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	1	・この日は何をするか決まっているので、子ども達の特性に合っているのか解らない	・子ども達全員がどのプログラムにも参加出来る様、日程等工夫しています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1	0	0	・先生の皆さん寄り添って下さっています	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	2	0	4	・あまり把握していないのですが、交流はあるのでしょうか	・近隣公園にて地域のお友達と一緒に遊ぶ機会があります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	0	3	・祭り等があった ・研修会は実施しているのでしょうか？ 把握しておらず	・親子プログラムを通して保護者同士が交流できるよう内容を工夫 ・今年もっと交流できるようなプログラムを検討中
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達等の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1	0	0	・出来ている時と出来ていない時がある	・送迎時に情報共有していますが、場合によってはそれが出来ない時もありますので、SNS等を使って行って行きたい
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	0	0	・出来ている時と出来ていない時がある	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	0	0	・出来ている時と出来ていない時がある	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	0	2	・保護者会等は参加した事はありません	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	1		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	1		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	0			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	0	・大きな怪我や事故無く過ごせている	・日頃からヒヤリハット報告書を作成し、大きな事故に繋がらない様スタッフ間で情報共有をしている
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	2	0	0	・活動内容による	・これからも子ども達の特性に合ったプログラム、逆に苦手なプログラムも設定し、色々な体験を提供していきたい
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 楽学喜サポート anemone

公表日 令和8年5月15日

利用児童数 6

回収数 3 (4)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	1	・棚の位置と玩具の収納がしっかりしている。動き回るスペースがある	・子ども対が元気に動き回れるよう棚の位置やロッカー位置を工夫
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	1		・玩具の片付け場所等、解り難い所があるので、写真を張り付けて視覚的に解りやすい工夫をしていく
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	1		・同じプログラムを何度も行う事で、熟練度を高める意図もあります
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	2		・保育所等の交流はないが、近隣公園にて地域のお友達と一緒に遊ぶ機会あり
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	1	0	0		・利用契約時に説明を行っていますが今後はもっと解りやすく丁寧にしたい
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	0	0		・もちつき会等の親子プログラムの実施しているが、今後はもっと家族に向けてのプログラムの企画予定
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		・忙しい世帯に向けてTV電話での面談も検討
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	0	0		・もちつき会等の親子プログラムの実施しているが、今後はもっと家族に向けてのプログラムの企画予定
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	1	・年3回避難訓練を行っている 今後訓練報告書を配布予定
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	0	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	0	・ anemone さんに行きたいと良く言います
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0	